

平成28年度 群馬県小学校体育研究会 西毛地区小学校体育科授業研究会より

安中市立原市小学校にて、5年生のマット運動の公開授業が行われました。写真を中心としながら、授業の様子を紹介します。

～準備運動・感覚づくりの運動から始まります～

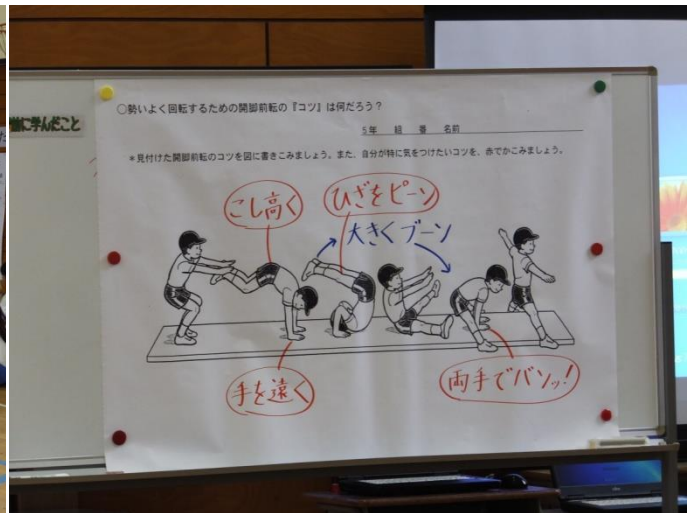


ケガ防止のために、首や手首をしっかりとストレッチ

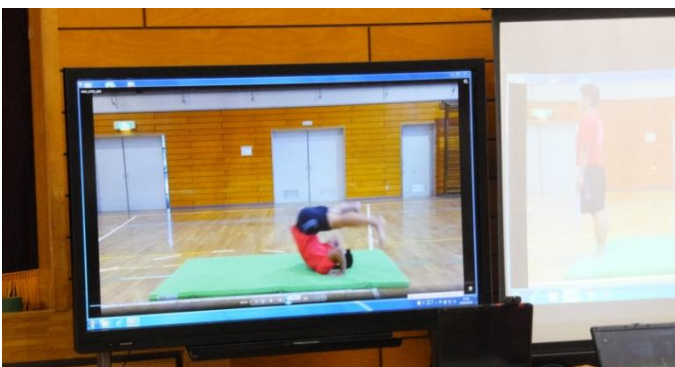
前転や後転をしながら感覚づくり

本時のめあての設定

「勢いよく回転するための開脚後転のコツは何だろう」



わかりやすい言葉で、大事なコツを確認します



開脚後転の動きをじっくりと確認することができるように、手本となる動きのスロー再生動画を見せました。

良い動きと課題の残る動きをしっかりと確認します。

～いよいよ、開脚後転の練習スタート！～



ぼくの動きはどうか？

おしりを遠くに着けることができているね。

もっと足を伸ばせるといいんじゃないかな？

まずは、自分が意識して練習したい点を決めます。

その後に、パソコンで自分の動きを撮影した動画を見て、課題点を探ります。

～全体でコツの共有をします～



「遠くにおしり！」で、勢いがつくんだな。

「後ろにキック！」で、回転しやすくなるんだな。

「両手でぐっと！」で、起き上がれるんだな。

開脚後転のコツを、後転や伸膝後転にも生かしてみよう。

～振り返り及び次の学びへのつながり～



「開脚後転をマスターしよう」
「後転をもう一度見直してみよう」
「伸膝後転に挑戦してみよう」
「どんな練習をすればよいだろう」

研究会では、一人一人の課題解決の仕方や個に応じた支援、ICT 機器を体育の学習で活用するための方法などについて意見交換がなされました。今後は体育科においても、様々な単元での効果的な ICT 機器の活用が期待されます。

授業では、子どもたち一人一人の「開脚後転ができるようになりたい！」という思いを強く感じることができ、伊田先生による適切な支援・指導によって学習が進んでいました。大変素晴らしい授業を公開していただき、本当にありがとうございました。 (文責 下山 大輔)